

## 鳴瀬川流域水循環計画(第2期)の策定

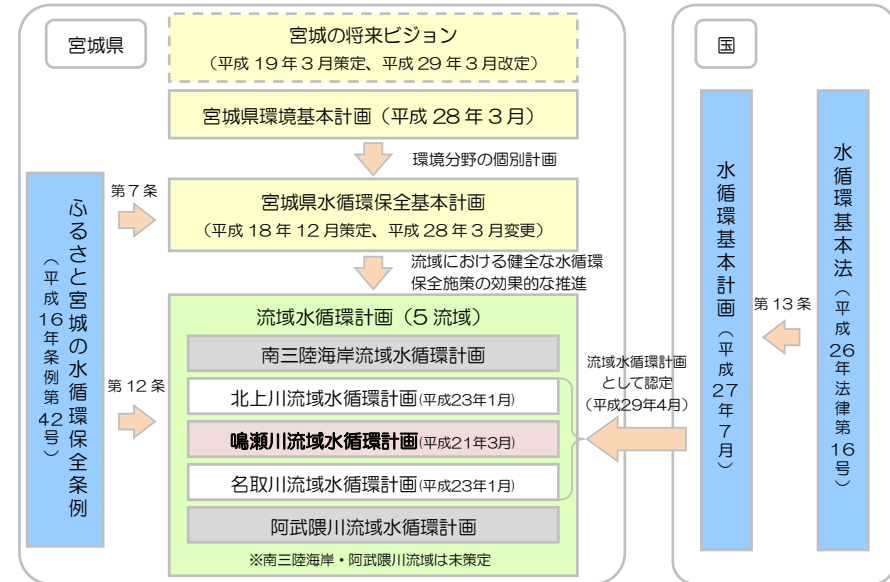
「ふるさと宮城の水循環保全条例」及び「水循環保全基本計画」に基づき策定している「鳴瀬川流域水循環計画」について、平成29年度に終期を迎えた第1期計画での取組や計画を取り巻く状況の変化等を踏まえ、第2期計画を策定する。

## 第1章 計画の基本的事項

### 【計画の性格】

- 鳴瀬川流域における健全な水循環の保全に関する施策の効果的な推進を図るため、定めるもの。

### 【計画の位置付け】



### 【鳴瀬川流域】



### 【計画期間】

平成30年度から平成39年度

### 【健全な水循環を構成する4つの要素】

清らかな流れ	河川、湖沼及び海域の水質が環境基準を満足している状態
豊かな流れ	山間部では森林によって雨水がかん養され、水が豊富に湧き出ており、河川では、常に正常な機能を維持できる水量を有している状態
安全な流れ	河川整備・海岸整備がなされている状態
豊かな生態系	多様な生態系が保全され、そのバランスが保たれている状態

これら要素が抱える課題に対応した施策を講じていくことで、健全な水循環がもたらす恩恵を維持・回復できる。

## 【第1期計画における10年間の取組】

要素	主な取組	取組結果
清らかな流れ	松島湾等の水質改善 (流入負荷量の削減)	河川の水質は環境基準を達成しているが、湖沼及び海域の一部では環境基準未達成である。
豊かな流れ	新たな水資源開発 農業用水等の適正かつ効率的な使用 節水の普及啓発	ニツ石ダムが完成したが、鳴瀬川・吉田川では正常流量が確保されない年がある。
安全な流れ	河川の施設整備 海岸防潮堤の整備	施設整備が進められているが、東日本大震災や関東・東北豪雨による被害が発生している。
豊かな生態系	森林の整備・保全 自然環境保全施策	計画的に取組が実施されている。東日本大震災の影響が大きい沿岸部では、貴重種の保全や生育環境の復元を行っている。

## 第2章 計画を取り巻く状況の変化

- 地球温暖化に伴う気候変動  
→水害の激甚化・頻発化、渇水の深刻化、生態系への影響
- 東日本大震災の影響  
→津波襲来による沿岸部生態系への影響 復旧・復興事業等による大規模な地形改変、山林開発の急増
- 水循環基本法の成立  
→水循環に関する施策の基本理念、水循環関係者の責務を明確化

## 第3章 鳴瀬川流域の現状

### 【流域・河川の概要】

- 県立自然公園船形連峰、世界農業遺産「大崎耕土」(持続可能な水田農業を支える伝統的水管理システム)、品井沼干拓、野蒜築港跡、東名運河、北上運河(水に関わる歴史的遺産)、特別名勝松島
- 鳴瀬川、吉田川、高城川、鶴田川、砂押川

### 【森林・農地の概要】

- 森林・農地の状況と面積の推移

### 【水循環の4つの要素から見た現状と課題】

- ①清らかな流れ：河川、湖沼、海域の環境基準達成状況等
- ②豊かな流れ：利水の状況、流況(水量)、土地利用等
- ③安全な流れ：歴史、河川・海岸整備状況、危機管理等
- ④豊かな生態系：概況、貴重な在来種、外来種等

下線：第1期計画から追加

要素	第2期計画の課題
清らかな流れ	漆沢ダム、南川ダム等湖沼の水質改善 松島湾等海域の水質改善 水環境を大切にす啓発活動の実施
豊かな流れ	水の効率的な使用及び適切な利水 地下水涵養機能の向上(森林や農地等の適切な管理) 新たな水資源の開発
安全な流れ	河川整備率の向上 海岸整備率の向上 東日本大震災による広域的地盤沈下への影響 危機管理体制の強化と防災意識の向上
豊かな生態系	生物多様性の保全 豊かな自然環境の保全(環境の保全に配慮した開発行為への誘導) 自然環境を大切にす啓発活動の実施

## 第4章 計画の基本理念と目指す将来像

### 【基本理念】

温故知新による地域に根ざした水循環に関わる取組の連携と推進

### 【目指す将来像】

- ◆ 流域の特徴を踏まえた水循環保全施策を展開する流域
- ◆ 健全な水循環の保全に向けてすべての主体が行動する流域

## 第5章 流域の健全な水循環の保全に関わる施策・取組

### 【水循環の保全に関わる行政計画・施策】

「公共用水域水質測定計画」、「宮城県自然環境保全基本方針」、「宮城県生物多様性地域戦略」、「宮城食と農の県民条例基本計画」、「みやぎ森と緑の県民条例基本計画」、「地域森林計画」、「鳴瀬川水系河川整備計画」、「宮城県水道ビジョン」、「人～水～地球 甦る水環境みやぎ(宮城県生活排水処理基本構想)」、「宮城県地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」など

### 【県が行う主な取組内容】

- 流域水循環計画推進会議の開催
- 水循環の保全に関わる各種施策・取組推進
- 関係団体の活動支援、連携・協働の推進
- 水道水源特定保全地域の指定

## 第6章 計画推進のための方策

### 【各主体の役割】

県民、事業者、民間団体及びNPO法人、教育研究機関及び行政機関に期待される役割のもと自主的・積極的に取り組む

### 【管理指標とモニタリング】

要素	管理指標	管理項目	備考	
清らかな流れ	水質環境基準達成状況	環境基準達成率 (BOD)	河川	
		環境基準達成率 (COD)	湖沼・海域	
豊かな流れ	地下水涵養状況	流出係数	(追加)	
		自然の水循環状況	正常流量達成率	(内容変更)
安全な流れ	河川整備状況	河川整備率		
		海岸整備状況	海岸整備率	(追加)
		洪水危機管理体制の状況	想定最大規模降雨による洪水ハザードマップ作成率	補助指標 (追加)
豊かな生態系	土地利用の自然性の状況	植物環境指標	(追加)	
		河川生物の多様性の状況	河川生物生息環境指標	(内容変更)
		水生生物保全水質環境基準達成状況	環境基準達成率(全亜鉛等)	補助指標
		絶滅危惧種生息状況	絶滅危惧種生息地数(シイヅツ、ツツヅ、セニナジ)	補助指標
	自然との触れ合いの状況	全国水生生物調査参加団体数	補助指標 (追加)	

## 第7章 水道水源特定保全地域の指定

流域水循環計画に基づき、山間部の水道水源地域のうち、地域の良好な水環境を図る上で特に重要な区域を指定(ふるさと宮城の水循環保全条例第13条)